公益社団法人国土緑化推進機構『森林NPO活動指導者養成事業』

ー 参加体験型森林環境教育の企画・運営や組織づくりの手法を
(財)キープ協会環境教育事業部の約30年間の数々の実例から学びますー

『森林環境教育コーディネーター養成研修』
開催要項

【開催日程】 平成23年10月21日(金)～10月23日(日) 2泊3日

【開催場所】 山梨県北杜市 財団法人キープ協会 キープ・フォレスターズキャンプ場

《開催趣旨》

○ 平成23年は「国際森林年」であるとともに、「国連生物多様性の10年」の開始年でもある中で、幅広い一般を対象とした森林環境教育活動は、ますます重要性が高まりをみせています。

○ こうした中、(社)国土緑化推進機構では、森林NPO等が事業的に森林環境教育の企画・運営に必要となる知識・技術及び手法等の専門的能力(企画・コーディネート力)を習得する研修会を開催します。

○ 本研修は、高品質な参加体験型の森林環境教育プログラムを事業型で提供してきた(財)キープ協会環境教育事業部のコーディネートにより実施。約30年間で培ってきた様々なプログラムデザインや人材育成、行政や企業・学校等と協働等のノウハウを惜しみなく紹介し、参加体験型でそのポイントを学びます。

◆参加対象 ～こんな方に、おススメです～

森林環境教育に係る活動を事業型(注1)で実施している、或いは今後実施する予定の森林NPOのスタッフ等(注2)

(注1)「事業型」:本研修では、指導者謝金や事務局人件費を含めて、組織・活動運営に必要な経費を、参加費等の収入により賄う活動

(注2)「スタッフ」:事業の企画・運営等のコーディネート経験があるスタッフ等を、主な参加者として想定しています。
(特に、ワークショップでは既存の企画のブラッシュアップを行いますので、企画経験のある方が望まれます)

本研修は、組織や活動の安定性や持続性を高めるとともに、活動頻度やその担い手を増やしていくために、「事業型として成立する森林環境教育」の実施を志向する森林NPO等を対象に行う研修です。その為、事業型で組織・活動の運営をする際に必要となる知識・技術 及び 手法を習得することを目的として開催することを十分ご留意の上、お申込み下さい。

◆研修内容 ～こんなプログラムをご用意いたします～

① 「参加体験型森林環境教育プログラム」や「参加型展示」を実践体験！

動植物に関心のない方でも惹きつけ、楽しませる参加体験型プログラムとその「インタープリテーション法」から、指定管理者として運営している「山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター」等の「参加型展示」などを紹介します。

② プログラムの運営面のきめ細やかなサービスの体験&解説！

フィールドでのプログラムとともに、食べる、寝る、くつろぐなどの生活そのものも、プログラムの大事な一部です。そこで、そのきめ細やかなサービスを体験しつつ、どのように企画・運営しているかの裏舞台もご紹介します。

③ 参加体験型森林環境教育プログラムの企画手法の"ポイント"をお伝えします！

大切なことは、参加者にどの様な「学び」の場を提供していくか、という教育的プログラムを生み出す「考え方」です。スタッフ間でこれを理解し、共有することが最も重要な点です。参加者の学びを深め、主体的な学びへと発展させていく効果的な教育手法、コミュニケーション手法について、キープ協会での実践例をご紹介します。

④ 参加者各自が持ち寄った、各団体の事業企画案をブラッシュアップします！

参加者が持ち寄った各団体が今後行う事業企画の企画書を、より効果の高い企画にするために「企画の作り方」の基本を学び、スタッフや参加者からのアドバイスを受けて、徹底的にブラッシュアップします。

◆研修方法

参加体験型の学習・コミュニケーション手法を用いて実施します。一方的な情報伝達型の講義は出来るだけ少なくして、実際の体験や、所属する組織の個別的な課題の解決策を検討する時間を多く取ります。

主催:公益社団法人国土緑化推進機構　運営:財団法人キープ協会

実 施 概 要

◆開催場所　**『(財)キープ協会 フォレスターズキャンプ場』**（〒407-0301　山梨県北杜市高根町清里 3545）

◆宿泊施設　**『(財)キープ協会 フォレスターズキャンプ場』**（研修会場と同一）

※ 宿泊部屋は男女別のキャビン。シングル等をご希望の場合は、申込先までご一報下さい。
（シングル等は「清泉寮本館」となり、キャンプ場から 500m 離れており、追加経費（4,000 円/2 泊分）が必要です。但し、室数に限りがあるため、ご希望に添えない場合があります。）

◆開催日時　**［集合］平成 23 年 10 月 21 日(金) 14 時 00 分**
［解散］平成 23 年 10 月 23 日(日) 13 時 30 分

◆募集人数　30 名（応募者多数の場合は、先着順とします。）

◆参 加 費　15,000 円（2 泊 6 食分の実費。研修参加費は無料。懇親会費は、別途ご負担下さい。）

◆交 通 費　**原則自己負担**（但し、遠方からの参加者（関東・中部地区以外を想定）の負担軽減のため、予算の範囲内で、遠方からの参加者に対する交通費補助を予定しています。）

※ 補助額は、参加決定者の交通費総額を元に、補助額総額から配分するため、事前の問合せにはお答え致しかねますので、予めご了承ください。

◆申込方法　「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記申込先まで、E-mail または FAX・郵送にてお申込先までお申込ください。（できるだけ E-mail でお申込下さい。様式は、当機構ホームページ（http://www.green.or.jp）よりダウンロードして下さい）

◆申込締切　**平成 23 年 10 月 6 日(木) 必着**

※ 定員を超過した段階で申込は締め切りますので、お早めにお申込み下さい。

◆交通案内　JR 小海線「清里」駅から、徒歩約 30 分

※ JR 小海線「清里」駅への列車到着時刻に合わせて、送迎車をご用意します。

《往路列車（参考）》
新宿 11:00 →（JR 中央線［特急あずさ 13 号］）→ 小淵沢 →（JR 小海線）→ 清里 13:38

《復路列車（参考）》
清里 14:01 →（JR 小海線）→ 小淵沢 →（JR 中央線［特急あずさ 24 号］）→ 新宿 16:36

※ その他、新宿から清泉寮（フォレスターズキャンプ場まで徒歩約 10 分）まで、格安の直通の高速バスもございます。直接バス運行会社「ハーベストツアー」（http://www.harvest-tour.com/）までご確認下さい（往路：新宿 10:00 → 12:40 頃、復路：清里 15:30 → 新宿 18:10 頃）

プログラム(予定)

※ 一部予定のものを含むため、変更となる場合もありますが、ご了承ください。

◆1日目［10月21日(金)］：【森林環境教育の最前線の現場体験から学ぶ】

○ 森林環境教育の最前線で実践している(財)キープ協会環境教育事業部の多彩なプログラムのうち、汎用性のあるプログラムを実践体験しつつ、その企画・運営面のポイント等を学びます。
○ (財)キープ協会環境教育事業部のスタッフや参加者同士のネットワークづくりの交流も行います。

1日目 午後	○開会・オリエンテーション・研修の趣旨説明 ○自己紹介 ○プログラム体験①「参加体験型森林環境教育プログラム」（プログラム実施側の意図開きを含む） ○講義&ワークショップ①「プログラムデザイン手法」（参加体験型の教育手法の理解） ○講義&ワークショップ②「(財)キープ協会環境教育事業部の概要」
1日目 夜	○各組織の事業企画（プログラム）の紹介（自己紹介の要素も含む） ○今日のふりかえり・交流会

◆2日目［10月22日(土)］：【キープ協会の事例を通して、ノウハウを学び、課題解決策を探る】

○ キープ協会の様々な事業型の森林環境教育プログラム体験を通して、企画のバリエーションを学びます。
○ 事業型で森林環境教育を実施する際に必要となるプログラム立案の基本から、企画・運営の手法、さらにはスタッフトレーニングのあり方等のノウハウを紹介し、所属団体の課題解決のヒントを学びます。

2日目 午前	○施設見学「やまねミュージアム」「アニマルパスウェイ」「野外施設等」 ○プログラム体験②「多様なタイプの森林環境教育事業の企画とプログラム」 （例:「社員研修向け企画」「子ども向け企画」「指導者養成企画」等）
2日目 午後	○講義&ワークショップ③「森林環境教育事業の企画のつくり方」 ○講義&ワークショップ④「キープ協会に学ぶ、森林環境教育プログラムの事業化への工夫」 （例:「企画のつくり方」「対象者理解」「コミュニケーション手法」「人材育成」 「プログラム成長のPDCA」「評価・フィードバック」「スタッフの人材育成」等）
2日目 夜	○ワークショップ⑤「所属団体の森林環境教育事業・プログラムの課題整理」 ○今日のふりかえり・交流会

◆3日目［10月23日(日)］：【テーマ／各団体の事業・プログラムの企画をブラッシュアップする】

○ 参加者の所属団体が実施する企画をブラッシュアップします。（個人・グループ作業、よろず相談など）
○ (財)キープ協会環境教育事業部のスタッフが、これまでのキープ協会および全国の自然学校等とのネットワークで培った様々な知見を元に、各団体の個別課題の相談に応じる「よろず相談」も行います。

3日目 午前	○ワークショップ⑥「所属団体の森林環境教育事業・プログラムのブラッシュアップ」 ○よろず相談「キープ協会スタッフへの個別アドバイス」 ○補足講義・フォローアップ
3日目 午後	○３日間のふりかえり・閉会 ※ 昼食後、解散となります。

運営団体紹介

財団法人キープ協会（Kiyosato Educational Experiment Project＝KEEP＝清里教育実験計画）

戦後荒廃した日本の山村復興のために、山梨県北巨摩郡高根町清里（現在：北杜市）に戦後間もなく誕生した財団法人。創設者は米国人ポール・ラッシュ（1987-79）。八ヶ岳の麓標高1,400mの高原に、山梨県から約230㌶の土地を借地し、教会・保育園・病院・農場・研修施設を建設し地域振興の核となった。

1980年代半ばからは、森の中での自然体験を通した環境教育の事業を開始。初期は(財)日本野鳥の会との共同事業であったが、1990年代からは独自の事業として展開。1987年からは、自然学校関係者の全国集会でもある「清里環境教育フォーラム」の会場となり、以来25年間日本の自然体験型環境教育の実践者たちの交流の場となっている。

キープ協会の環境教育プログラムの特徴は「参加体験型の学習・直接体験・感性からのアプローチ」にある。自然の情報を「伝達するだけの教育」よりも「体験し発見する」ことによって腑に落ちる教育を目指してきた。

こうした教育手法は行政・企業・学校などから評価を受け、年間約500団体との協働による各種事業を受入・実施し、環境教育事業部の年間予算は1.2億円になるなど、森林環境教育を自立的な事業として成立させている。

また、多様な利用者の受入を想定して県有林を整備しながら、幅広い分野の団体との協働により、近年では森林療法、森のようちえん、企業研修やCSR活動など、常に新しいプログラム開発が行われている。

【研修のスタッフ紹介】

川嶋　直（財団法人キープ協会 環境教育事業部 シニアアドバイザー）

1953 年東京生まれ。1980 年キープ協会に就職。1984 年から環境教育事業を担当。「自然と人との橋渡し役」といわれる「インタープリテーション」が仕事。各地で実施される環境教育・野外教育・森林環境教育の指導者やインタープリターの養成事業の企画・運営を担当する。立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科兼任講師。立教大学ＥＳＤ研究センターＣＳＲチーム主幹。日本環境教育フォーラム理事。自然体験活動推進協議会理事。日本環境教育学会理事。2005 年には「愛・地球博」 森の自然学校・里の自然学校の統括プロデューサーを務めた。主な著書に「就職先は森の中」（小学館）、共著「日本型環境教育の知恵」（小学館）、「次世代ＣＳＲとＥＳＤ」（ぎょうせい）、監訳「インタープリテーション入門」（小学館）、など。

増田　直広（財団法人キープ協会 環境教育事業部 事業部長）

群馬県桐生市出身。埼玉大学大学院で環境教育を学んだ後（専門は生涯学習としての環境教育）、キープ協会 に入職。事業部長として、環境教育事業部の統括、キープ・フォレスターズ・スクール（プログラム部門）のマネジメントを行う。企業との協働事業や指導者（インタープリター・ファシリテーター・企画者など）養成事業、森林療法事業の企画・運営を担当することが多く、北杜市の地域づくりや観光における人材育成やプログラム開発にも関わる。林野庁の森林環境教育関連研修の講師、都留文科大学非常勤講師、日本環境教育学会理事など。共著に「ファシリテーター・トレーニング」（ナカニシヤ出版）など。

お申込先 ・ お問合せ

◆本事業全般に関するお問合せ先◆

公益社団法人国土緑化推進機構 政策企画部［担当：木俣］

TEL : 03-3262-8437　　FAX : 03-3264-3974　　E-mail : comis@green.or.jp

◆申込先・会場等に関するお問合せ先◆

財団法人キープ協会 環境教育事業部［担当：加藤・増田］

〒407-0301　山梨県北杜市高根町清里 3545

TEL : 0551-48-3795　　FAX : 0551-48-2990　　E-mail : forester@keep.or.jp

＜公益社団法人国土緑化推進機構『森林NPO活動指導者養成事業』＞

『森林環境教育コーディネーター養成研修』参加申込書

ふりがな		性別	男・女	生年月日	19　年　月　日
氏　名					
所　属				役職名	
住　所	〒				
電　話		ＦＡＸ		E-mail	
所属団体の実績・役割	※ 所属団体が実施している「森林環境教育プログラム」と、事業実施時の役割について、お書き下さい。				
その他					